

病害虫情報

オオタバコガの飛来開始が早く、飛来量が多いです

奈病防号外
令和3年5月10日

関係機関長 殿
病害虫防除員 殿
調査員・情報員 殿
農業資材販売等関係者 殿

奈良県病害虫防除所長

病害虫情報の送付について

このことについて、以下の通り発表しました。生産者に対する周知を行うとともに、適正・安全な防除についてご指導をお願いします。

令和3年度病害虫情報第1号

作物名：ナス・トマト・キク・バラ等の野菜・花き類 **対象地域**：奈良県全域
病害虫名：オオタバコガ **予報内容** 発生時期：早い 発生量：多い

1. 飛来と発生の状況

- 5月1半旬より、フェロモントラップ（奈良県桜井市）にオオタバコガ成虫が誘殺されています（表1）。
- 平年と比較して誘殺開始時期が早く、誘殺量も多いです。
- 生産ほ場における幼虫による被害は未確認ですが、5月下旬から被害が発生する可能性があります。

2. 防除のポイント

- オオタバコガは成虫が夜間に飛来し、新葉や蕾に1粒ずつ産卵します。ふ化幼虫は、新葉や蕾から食害を始め、発育が進むと果実（ナス、トマト）、茎（トマト）、新芽（キク）や花蕾（キク、バラ）などに潜り込みます。対面作業の際に、食害が発生していないかよく観察して、初期発見に努めます。
- 昨年度に実施した感受性検定では、基幹防除薬剤のほとんどは効果が高かったです。ただし、感受性が高い剤でも発育が進むと効果が低下する場合がありますので、初期発見、初期防除に努めて下さい。
- カブリダニ類などの天敵製剤利用や、ヒメハナカメムシ類などの土着天敵保護に取り組んでいる場合は、これらの天敵類に影響が小さい殺虫剤を使用します。表2を参考にして、防除する作物で登録のある薬剤を選択して下さい。
- 農薬使用時は、もう一度ラベルをよく読んで、登録の有無と収穫前使用日数や使用回数を確認します。

- (5) ほ場周辺への薬剤飛散防止に努めます。風の強い日には散布を控え、風向きに注意し、収穫期に近い他作物へ飛散しないようにするなど基本事項を徹底します。

表1. オオタバコガの誘殺量（桜井市池之内）

| | 今年 R3 | 平年値 H23～R2 | 多発年 H28 |
|-------|----------|---------------|------------|
| 5月1半旬 | 4 | 0 | 0 |
| 5月2半旬 | 5 | 0 | 0 |
| 5月3半旬 | | 0 | 0 |
| 5月4半旬 | | 1 | 6 |
| 5月5半旬 | | 0 | 5 |
| 5月6半旬 | | 1 | 4 |
| 6月1半旬 | | 0 | 2 |
| 6月2半旬 | | 1 | 2 |
| 6月3半旬 | | 1 | 2 |

表2. オオタバコガの主な防除薬剤と天敵影響

| IRAC コード | 商品名 | 天敵影響 | |
|-------------|-------------|---------------|--------|
| | | ヒメハナ カメムシ類 | カブリダニ類 |
| 5 | スピノエース顆粒水和剤 | × | × |
| 5 | ディアナSC | × | × |
| 6 | アファーム乳剤 | × | × |
| 6 | アニキ乳剤 | × | × |
| 11 | エスマルクDF※ | ○ | ○ |
| 13 | コテツフロアブル | ○ | × |
| 15 | マッチ乳剤 | × | ○ |
| 18 | ファルコンフロアブル | ○ | ○ |
| 22A | トルネードエースDF | △ | ○ |
| 22B | アクセルフロアブル | ○ | ○ |
| 28 | フェニックス顆粒水和剤 | ○ | ○ |
| 28 | プレバソフロアブル | ○ | ○ |
| 28 | ベネビアOD | ○ | ○ |
| 28 | ヨーバルフロアブル | ○ | ○ |
| 30 | グレーシア乳剤 | × | × |
| UN | プレオフフロアブル | ○ | ○ |

左表に記載されている薬剤は全ての作物に使用できるわけではありません。
作物ごとに登録の有無を確認してご使用ください。

※B T剤は、クルスターキ系薬剤の効果が高いが、アイザワイ系薬剤の効果が低いので、あらかじめ確認して使用する。

お問い合わせは

奈良県病害虫防除所

TEL. 0744-47-4481

その他関連情報は以下をご覧ください

病害虫防除所ホームページ <http://www.jppn.ne.jp/nara/>

奈良県農業情報システム（農作物病害虫・雑草防除指導指針）

<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/nara>